

大分県東部圏地域公共交通網形成計画の概要

計画の目的

自家用車の普及や人口減少に伴い公共交通の利用者が減少するなど、バスをはじめとする公共交通を取り巻く環境は厳しさを増す一方、高齢運転者による交通事故の増加やインバウンド旅行者の増加等を考慮すると、安全・安心でだれもが利用できる公共交通の果たす役割は大きく、都市軸と拠点のネットワークを圏域として確保・維持することは、移動弱者を含むすべての人の移動と、人の活動によって生み出される地方の活力を維持するために必要となっている。

このため、合併前の旧市町村間をまたいで運行されるバス路線が多く存在する東部圏を対象として、持続可能な公共交通網の構築を目的とした「大分県東部圏地域公共交通網形成計画」を策定する。

計画の対象地域

- ・ 杵築市、国東市、姫島村、日出町の4市町村域を対象とする。

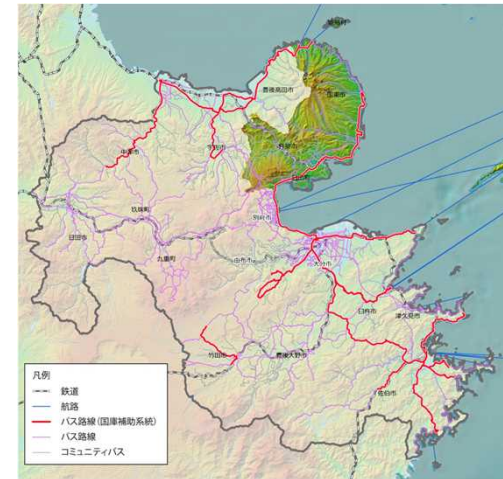
(基礎データ：平成30年10月1日現在)

人口：85,966人

面積：678.49平方キロメートル

過疎地域等指定：過疎、離島、山村等

高齢化率：36.8%



計画の概要

基本方針1 だれもが安心して生活できる移動環境の創造

基本方針2 効率的で持続可能な都市圏の構築

基本方針3 交流促進による地域活力の維持・向上

公共交通ネットワークの形成方針

市町村との連携のもとで、大分県の生活や経済活動の基盤を支える公共交通ネットワーク

計画目標1 移動実態に即した公共交通網の見直しによる持続的な交通体系の構築

計画目標2 潜在的な公共交通ニーズへの細やかな対応による公共交通の利用促進

計画目標3 モード間や公共交通事業者間の連携強化による円滑な移動環境の創出